

第1学年 生活科学学習指導案

日時 平成31年1月23日(水) 第5校時

対象 第1学年2組 31名

授業者 S.A.

1 単元名 「もうすぐ2年生」

2 小単元名 「もうすぐ2年生」

3 小単元の目標

- ・自分自身の成長に関心を持ち、これまでの生活や成長を支えてくれた人々へ感謝の気持ちをもつとともに、これからの成長への願いをもって意欲的に生活しようとする。
- ・学校の施設、学校生活を支えている人々や友達と自分との関わりに気づき、多くの人の支えにより自分が大きくなったこと、自分のよさや可能性に気付く。

4 単元の評価規準

生活への関心・意欲・態度	活動や体験についての思考・表現	身近な環境や自分についての気づき
① 学校の施設、先生や友達などに関心をもって関わろうとしている。	① 新1年生に紹介したい場所や人を選んでいる。	① 学校や学校生活を支えている人々、友達と自分との関わりに気付いている。
② 自分自身の成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、伝えようとしている。	② 自分の成長を支えてくれた人々との関わりについて考え、感謝の気持ちを表している。	② 優しい気持ち、他者への思いやり、我慢する心など、内面的な成長に気付いている。
③ これからの成長への願いをもって、意欲的に生活しようとしている。	③ 自分の成長に希望を持ち、これからの生活について考えている。	③ 自分自身のよさが分かり、これからも成長できることに気付いている。

5 単元について

(1) 新学習指導要領との関連

本単元は、新学習指導要領の次の内容を受けて設定した。

内容(1)

学校生活に関わる活動を通して、学校の施設の様子や学校生活を支えている人々や友達、通学路の様子やその安全を守っている人々などについて考えることができ、学校での生活は様々な人や施設と関わっていることが分かり、楽しく安心して遊びや生活をしたり、安全な登下校をしたりしようとする。

内容（9）

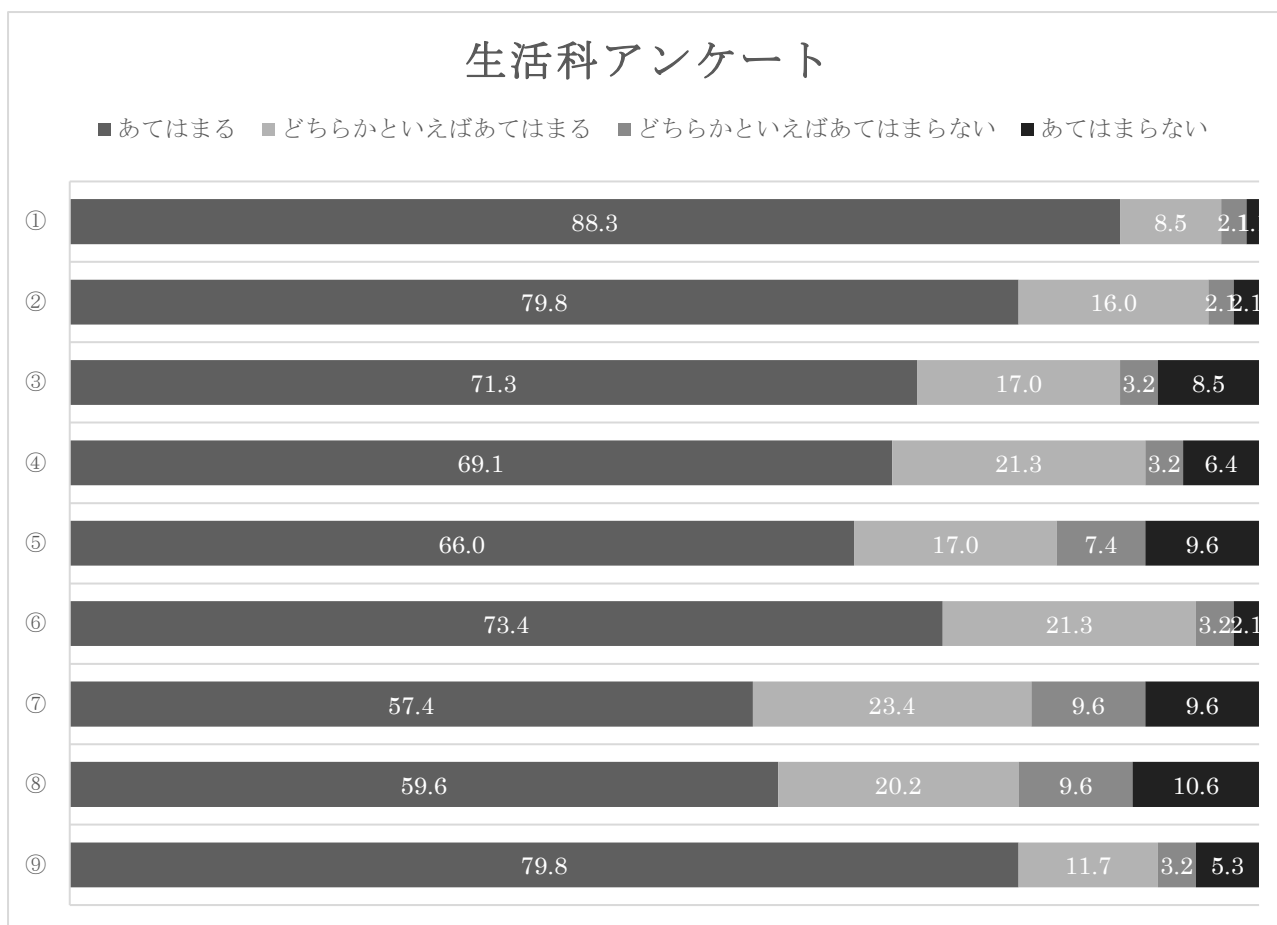
自分自身の生活や成長を振り返る活動を通して、自分のことや支えてくれた人々について考えることができ、自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどが分かるとともに、これまでの生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、これからの成長への願いをもって、意欲的に生活しようとする。

（2） 教材について

本単元は、新学習指導要領生活科の内容（1）学校生活に関わる活動と、（9）自分自身の生活や成長を振り返る活動を受けて設定したものである。5月に行った「学校たんけん」では、学校の施設や通学路などについて考え、学校での生活は様々な人や施設と関わっていることが分かり、楽しく安心して遊びや生活をしたり、安全な登下校をしたりできるようにすることを目指した。本単元ではその活動を踏まえ、今度は自分たちが新1年生に対し、学校や生活を支えている人々を紹介する活動を通して、自分の成長や生活を支えてくれる人々への感謝の気持ち、2年生に向けての思いや願いをもって生活できることを目指している。

（3） 児童の実態

- ・アンケートの実施（対象1年1組32名、1年2組31名、1年3組32名 実施日12月21日）
- ・アンケートの分析



<質問項目>

- ①生活科の学習は楽しい。
- ②見学に行って新しいことをたくさん見つけることができる。
- ③植物や生き物を育てたり観察したりすることが好きだ。
- ④本などを使って調べる学習は好きだ。
- ⑤自分の考えをノートやプリントにまとめることは好きだ。
- ⑥友達と協力して学習することは好きだ。
- ⑦なぜ、どうしてもと思ったことを自分で調べたりまとめたりすることが好きだ。
- ⑧自分の考えや調べたことを発表することは好きだ。
- ⑨友達の発表を見たり聞いたりすることは好きだ。

<アンケートから分かること>

- ・生活科の学習が楽しい、どちらかと言えば楽しい 96%
- ・見学に行って新しいことをたくさん見つけることができる、どちらかと言えばできる 95%
- ・友達と協力して学習することは好きだ、どちらかと言えば好きだ 94%
- ・なぜ、どうしてもと思ったことを自分で調べたりまとめたりすることが苦手だ 20%
- ・自分の考えや調べたことを発表することが苦手だ 20%

以上のアンケート結果から、「生活科の学習は楽しい、どちらかと言えば楽しい」と感じている児童が多く、生活科の学習に意欲的に参加する姿も見られている。また、友達と協力したり、見学に行って新しいことを発見したり、友達の発表を聞いたりすることも好きである。その一方で、「なぜ、どうしてもと思ったことを自分で調べたりまとめたりすること」や「自分の考えや調べたことを発表すること」を苦手と感じている児童もいる。生活科の学習が楽しいという気持ちを大切に、さらに「調べたい」「伝えたい」という気持ちも高まるような手立てが必要であると考え。意欲的に自分で調べたり、考えを発表したりするためのツールとして、ICT機器を効果的に活用していく。

6 研究主題に迫るための手立て

研究主題

21世紀型の学力を育む学習指導法の研究～ICT機器の効果的な活用を通して～

目指す児童像

身近にいる人や社会・自然に興味をもち、自分の考えたことを表現したり伝え合ったりする児童

(1) 教材・教具の工夫

本単元は、新1年生を迎える準備として、自分たちが生活している学校について調べたり、学校生活を支えてくれる人々にインタビューをしたりし、調べたことをまとめ、発表するものである。5月に行った「学校たんけん」では気付かなかった「よさ」や「不思議」、「疑問」を調べることで、学校の施設、先生や友達などに対し、さらに関心をもって関われるようにする。また、友達と「どのように質問したら良いか」「どのような言葉でまとめると自分よりも小さい子に伝わりやすいのか」などを話し合ったり、教え合ったりすることで、他人への思いやりの心を育てていく。また、国語科の「学校のことをつたえあおう」の単元を並行して進め、学校で働く人に自分の知りたいことを尋ねてインタビューし、聞いてきたことをメモにまとめる学習をする。それらの活動を通して、自分たちの生活を支えてくれている人への感謝の気持ちをもったり、自分のできるようになったことを振り返り、成長に気付いたりすると考えられる。

(2) 学習活動の工夫

単元の導入では5月の「学校たんけん」を振り返り、今度は自分たちが新しく入ってくる1年生のために、入学が楽しみになるような学校紹介を作ることを知る。2年生に教えてもらった学校探検の時のわくわくした気持ちを思い出すことによって、入学したばかりの自分たちのことも思い出せるようにする。また、学校の不思議だと思うことやぜひ知ってもらいたいことを調べるだけでなく、学校生活を支えてくれる人々（主に先生や主事さん）にインタビューすることを通して、自分とどのように関わっているかを再度考えるとともに、これまでの生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちをもてるようにする。そして、過去の自分と現在の自分とを比較し、自分自身のよさや成長、可能性に気付いていけるようにする。

学習では2～4人のグループを作り、一つの場所や人について「不思議に思ったこと」や「知りたいこと」「ぜひ紹介したいこと」を出し合い、インタビューする内容やどのような写真を撮ってくるのか話し合う活動を行う。そして、撮ってきた写真の中から、インタビューしてきた内容に合う写真を考えて選ぶ。発表原稿を一人一枚作る。原稿作成後、グループごとに発表の練習を行い、それぞれ発表をしたり、聞いたりする活動を行い、学校紹介を通して学校に対する愛着や自分の成長への気付き、生活を支えてくれる人々への感謝の気持ちを育てる。

(3) ICT機器活用の工夫

本単元では、主に児童が学校紹介をする際の補助資料（写真）掲示のツールとして、ICT機器（主にタブレット端末）を使用する。グループの友達と相談をしながら、自分の選んだ場所や人について、伝えたいことが伝わるような写真を撮り、発表で使う写真を選ぶ。「写真を撮る」「選ぶ」活動を通して、児童の話し合い活動の充実を図り、「見せながら発表する」ことで、分かりやすく伝えることができると考えた。

7 小単元の指導計画（全7時間）

時	○学習活動	◇支援、手立て【評価】
1	<p>「もうすぐ2年生」ではどんなことをするのか？</p> <p>○自分たちが2年生にしてもらった「学校たんけん」を思い出し、今度は自分たちが新1年生に学校紹介をするために、「どこ」「だれ」を紹介したいのか考える。また、どこを調べたいか考え、グループを決める。</p>	<p>◇5月に2年生と行った「学校たんけん」の写真を見せ、どの子も活動を思い出せるようにする。</p> <p>【関心・意欲・態度①】観察</p> <p>【思考・表現①】観察</p>
2	<p>学校紹介のために調べる内容を考えよう。</p> <p>○グループごとに集まり、一人一つ以上調べたりインタビューしたりする内容を決める。一人一人ワークシートにインタビューする人やインタビューする内容を具体的に考え、練習する。</p>	<p>◇調べる内容が決まらないグループには、選んだ教室や人について調べるポイントがあることを個別に声をかけて考えさせる。</p> <p>【関・意・態①】観察・ワークシート</p>
3	<p>インタビューをしてこよう。</p> <p>○グループごとにインタビューをしたり、自分たちの紹介したい場所に行ったりして、疑問や紹介するための内容を調べる。</p>	<p>◇どの児童も活動に参加できるよう、事前にインタビューの仕方や調べるポイントを確認しておく。</p> <p>【思考・表現②】観察・ワークシート</p> <p>【関・意・態②】観察・ワークシート</p>
4	<p>自分の学校紹介にぴったりの写真を撮ってこよう。</p> <p>○グループごとに調べている場所や人の写真を撮ってくる。時間の限り、グループの友達と相談をして、自分の紹介したいことがよく伝わるような写真を撮り、一人3枚まで残して良いことにする。</p>	<p>◇伝えたいことが不明確では写真を撮ったり選んだりできないので、「何を伝えたいか」をつかんでから活動できるよう支援する。</p> <p>【気付き①】観察・撮ってきた写真</p>
5 本 時	<p>学校紹介の写真を選び、発表原稿を作ろう。</p> <p>○例を提示し、どのような原稿を作るか知る。</p> <p>○撮ってきた写真の中から、自分の伝えたいことにぴったりの写真を一枚選ぶ。インタビューしてきたことや調べてきたことを元に発表原稿を書く。</p>	<p>◇グループの友達と相談しながら発表に使う写真を選ぶよう声をかける。</p> <p>◇インタビューや調べた中でどこを一番伝えたいのか考えさせる。</p> <p>【気付き②】観察・原稿</p>
6	<p>学校紹介の発表原稿を完成させ、発表の練習をしよう。</p> <p>○自分の発表原稿を完成させ、同じグループの友達と発表を聞き合ったり、より分かりやすい発表になるよう工夫したりする。</p>	<p>◇お互いの発表を聞いて、よさや改善点を考え、よりよくなるように声をかける。【気付き②】観察・原稿</p> <p>◇自分より小さな子にもわかるような言葉で発表原稿を工夫するよう声をかける。【関・意・態③】観察</p>
7	<p>学校紹介をしよう。</p> <p>○クラス内でグループごとに写真を見せながら発表し、お互いの発表の良いところや5月と比べて成長したことなどを話し合う。</p>	<p>◇お互いのよさに気付けるよう、発表や発表を聞く態度を事前に指導する。【思考・表現③】観察・発表</p> <p>【気付き③】発表・感想カード</p>

8 本時の指導（5時間目／全7時間）

（1）目標

「学校しょうかい」で使う写真をグループで選び、分かりやすい発表原稿を作成する活動を通して、自分よりも小さい子が理解できるようにするなど他者への思いやりの心を育む。

（2）授業を見る視点

①教科の観点：自分よりも小さい子が理解できるような言葉を使って「学校しょうかい」をすることで、自分の成長に気付いたり、他者への思いやりや優しい気持ちを育んだりする活動になっているか。

②ICT機器の活用：グループごとにタブレット端末を一台使い、「学校しょうかい」で使う写真を選ぶ活動を通して、話し合いを活発にすることができたか。

（3）本時の展開

○学習活動 T：教師の発問 C：児童の発言	◇指導、支援 ☆ICT機器の活用ポイント 評価【評価規準】(方法)
<p>○本時のめあてを確認する。(3分)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>◎学校しょうかいでつかうしゃしんをえらび はっぴょうげんこうをかこう。</p> </div> <p>○学校しょうかいでつかう写真を選ぶ。(15分) T：グループごとに撮ってきた写真から、発表で使う写真を一人一枚選びましょう。選ぶポイントは、「新1年生に分かりやすいこと」です。選び終わったら話す順番も決めて写真をつなげ、提出しましょう。 (活動例) C：校長先生に暗唱の質問をしたので、暗唱している様子の分かるこの写真がいいと思います。 C：暗唱なら、実際の暗唱問題が写っている写真もいいと思います。</p> <p>○インタビューメモを見ながら原稿を書く。(15分) T：1度手を止めます。次に、写真が決まったグループから発表原稿を書きます。インタビューのメモを見ながら、どんなことに気を付けて書きますか。 C：新1年生に分かりやすい言葉で書きます。 T：では書き始めてください。 (原稿例) ・校長室では、暗唱のテストが行われています。覚えよ</p>	<p>◇本時のめあてを確認する。</p> <p>◇グループの友達と相談しながら、自分が伝えたい内容にぴったり合う写真を選べるよう声をかける。 ◇写真は一人一枚選ぶ。 ☆写真を選ぶ際はグループで一台タブレット端末を使用し、みんなで話し合いながら発表で使う写真を決める。</p> <p>◇自分の書いた発表原稿が、新1年生でも理解できるか考え、言葉を選んで文章を書くよう指導する。 ◇短い文章で書くよう声をかける。</p>

<p>うとすることが大切だと教えてくれました。</p> <p>○本時の振り返りを行う。</p> <p>T: 時間になりました。今日の学習の感想を書きましょう。書き終わったら発表しましょう。</p> <p>C: 友達と相談しながら写真を選んだので、分かりやすい写真が選べました。(B)</p> <p>C: 写真とインタビューのメモを見ながら発表原稿を書いたので、新1年生にも紹介する場所がよく分かると思います。また、分かりやすい言葉で伝えるようにすると、なんだかおねえさんになった気がしました。(A)</p> <p>○次時の確認をする</p> <p>T: 次回は発表原稿の続きと発表練習をしますので頑張りましょう。</p>	<p>【評価規準】(方法)</p> <p>A: 学校しょうかいの写真選びや原稿作成を通して、言葉の選び方などの些細な自分の成長への気づきや他者への思いやりの心をもっている。(観察・発表原稿)</p> <p>B: 学校しょうかいの写真選びや原稿作成を通して、他者への思いやりの心をもって取り組んでいる。(観察・発表原稿)</p> <p>◇本時の振り返りの感想を全体で共有し、自分たちの成長に目を向けられるようにする。</p>
--	--

(4) 板書計画

<p>プロジェクター</p>	<p>もうすぐ2年生⑤</p> <p>学校しょうかいをしよう</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>☉学校しょうかいでつかうしゃしんをえらんで、はっぴょうげんこうをかこう。</p> </div> <p><u>*しん1年生にわかりやすくつたえる</u></p> <p>1、グループでしゃしんをえらぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○しゃしんは一人一まい。 ○しゃしんをえらんだら、じゅんばんをきめる。 ○しゃしんをつないだら、ていしゅつする。 <p>2、はっぴょうげんこうをかく</p> <ul style="list-style-type: none"> ○インタビューのメモを見ながらはっぴょうげんこうをかく。 ○みじかい文でかく。
----------------	---

9 第6時の指導（6時間目／全7時間）

（1）目標

学校紹介の発表原稿を完成させ、発表練習する活動を通して、自分の成長に気付いたり、小さい子や友達に対する思いやりの心を育んだりする。

（2）授業を見る視点

①教科の観点：自分よりも小さい子が理解できるような言葉を使って学校紹介することで、自分の成長に気付いたり、他者への思いやりや優しい気持ちを育んだりする活動になっているか。

②ICT機器の活用：グループごとにタブレット端末を一台使い、「学校しょうかい」の発表練習を行うことは分かりやすく伝える手立てとして有効か。

（3）本時の展開

<p>○学習活動 T：教師の発問 C：児童の発言</p>	<p>◇指導、支援 ☆ICT機器の活用ポイント 評価【評価規準】(方法)</p>
<p>○本時のめあてを確認する。(8分)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>◎学校しょうかいのはっぴょうげんこうをかんせいさせ、はっぴょうのれんしゅうをしよう。</p> </div> <p>T：今日やることは二つです。一つは自分の発表原稿を完成させること。次に、作った発表原稿を同じグループの友達と発表し合い、お互いの良いところやもっと良くなるための工夫を考えます。 よい発表原稿を紹介します。</p> <p>C：私たちは保健室を紹介します。保健室のことを知るために、向井先生にお話を聞きました。保健室では、けがや病気の人のためにベッドがあります。熱があるなど具合が悪いときには、先生に言ってから保健室に来てほしいそうです。</p> <p>T：この発表のように新1年生にもわかる言葉を使って発表原稿を作りましょう。グループで相談して作ってもかまいません。ではどうぞ。</p> <p>○各グループの進行状況を確認する。 T：1度手を止めます。各グループ確認します。 C：あと少しで全員完成します。発表練習できます。 C：もう少し時間がほしいです。 T：グループの全員が終わったら、写真を見せながら本番のように発表の練習をしましょう。</p>	<p>◇本時のめあてを確認する。</p> <p>◇発表原稿の例は、前時で完成している児童を指名して紹介する。難しければ模範で作った物を紹介する。</p> <p>◇一人で発表原稿を書くことが難しい児童には、「何を一番伝えたいのか」を考えさせ、机間指導しながらその都度声をかけ、作業を進めていく。</p> <p>◇発表原稿では、自分よりも小さい子に伝わる言い方ができているか考えるよう声をかける。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【評価規準】(方法)</p> <p>A：学校紹介の原稿作成や発表練習を通して、自分の成長への気付きや他者への思いやりの心をもっている。(観察・発表原稿)</p> <p>B：学校紹介の原稿作成や発表練習を通して、他者への思いやりの心をもって取り組んでいる。(観察・発表原稿)</p> </div>

<p>○本時の振り返りを行う。</p> <p>T: 発表原稿を作ったり、発表練習をしたりした感想を書きましょう。書き終わったら発表してもらいます。</p> <p>C: 友達の発表を聞いて、自分も大きな声で言おうと思いました。</p> <p>C: 写真を見ながら発表を聞くので、分かりやすかったです。</p> <p>T: 次回は全員に発表してもらいます。頑張りましょう。</p>	<p>◇本時の振り返りの感想を全体で共有し、自分たちの成長に目を向けられるようにする。</p>
--	---

(4) 板書計画

<p>プロジェクター</p>	<p>もうすぐ2年生⑥</p> <p>学校しょうかいをしよう</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>☑学校しょうかいのはっぴょうげんこうをかんせいさせ、グループではっぴょうれんしゅうをしよう。</p> </div> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>① はっぴょうげんこうのかくにん</p> <p>○しゃしんとインタビューのメモを みながらはっぴょうげんこうをかく。</p> <p>○みじかい文でかく。</p> <p>○しん1年生にわかることばを つかってはなす。</p> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>②はっぴょうれんしゅう</p> <p>・まっすぐせすじ</p> <p>・きいている人を見ながらはなす</p> <p>・はっきり大きなこえではなす</p> </td> </tr> </table>	<p>① はっぴょうげんこうのかくにん</p> <p>○しゃしんとインタビューのメモを みながらはっぴょうげんこうをかく。</p> <p>○みじかい文でかく。</p> <p>○しん1年生にわかることばを つかってはなす。</p>	<p>②はっぴょうれんしゅう</p> <p>・まっすぐせすじ</p> <p>・きいている人を見ながらはなす</p> <p>・はっきり大きなこえではなす</p>
<p>① はっぴょうげんこうのかくにん</p> <p>○しゃしんとインタビューのメモを みながらはっぴょうげんこうをかく。</p> <p>○みじかい文でかく。</p> <p>○しん1年生にわかることばを つかってはなす。</p>	<p>②はっぴょうれんしゅう</p> <p>・まっすぐせすじ</p> <p>・きいている人を見ながらはなす</p> <p>・はっきり大きなこえではなす</p>		

10 第7時指導（7時間目／全7時間）

（1）目標

学校紹介の発表をしたり聞いたりする活動を通して、お互いのよさに気付いたり、多くの支えがあることに気付いている。

（2）授業を見る視点

- ①教科の観点：自分よりも小さい子が理解できるような言葉を使って学校紹介することで、自分の成長に気付いたり、他者への思いやりや優しい気持ちを育んだりする活動になっているか。
- ②ICT機器の活用：発表時、自分たちの撮ってきた写真を見せながら発表することが、伝えたいことを伝える手助けになっていたか。

（3）本時の展開

<p>○学習活動 T：教師の発問 C：児童の発言</p>	<p>◇指導、支援 ☆ICT機器の活用ポイント 評価【評価規準】(方法)</p>
<p>○本時のめあてを確認する。（3分）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px 0;"> <p>④学校しょうかいをしよう。</p> </div> <p>○学校紹介の練習をする。 T：今日はみなさんで学校紹介をしましょう。 はじめにどんなことに気を付けて発表するか確認します。 C：大きな声でみんなに聞こえるように言います。 C：みんなを見ながら発表したら良いと思います。 C：ゆっくり話した方が分かりやすいと思います。 T：では5分間、各グループでリハーサルをします。 本番と同じように、写真を動かしながら練習をしましょう。</p> <p>○学校紹介をする。 T：友達の発表を聞きながら、感想カードのチェック欄によくできているところを見つけてチェックを入れましょう。最後に気付いたことや分かったことを書くので、しっかり聞きましょう。</p> <p>○本時の振り返りを行う。 T：感想カードを書きます。気付いたことや友達のいいなど思ったことなどを書きましょう。</p>	<p>◇本時のめあてを確認する。</p> <p>◇どのような発表が良いか考えさせる。</p> <p>◇リハーサルをすることで、練習の成果を発揮できるようにする。</p>

<p>C:保健室のグループは、大きな声でゆっくり発表していたのが良かったです。(B)</p> <p>C:主事室にいる主事さんは、毎朝私たちが安全に登校できるよう見守ってくれていることがわかり、「ありがとう」を言いたいと思いました。また、分かりやすい言葉でみんな発表ができていたと思います。(A)</p> <p>T:それではこれでもうすぐ2年生の学校しょうかいを終わります。今度は新1年生が入学してきたときに紹介しましょう。</p>	<p>☆自分たちの選んだ写真を見せながら発表する。</p> <div data-bbox="826 264 1410 667" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【評価規準】(方法)</p> <p>A:学校紹介の発表をしたり聞いたりする活動を通して、お互いのよさに気付いたり、多くの支えがあることに気付いている。(観察・感想カード)</p> <p>B:学校紹介の発表をしたり聞いたりする活動を通して、お互いのよさに気付いている。(観察・感想カード)</p> </div> <p>◇自分たちが多くの人に支えられていることや、これからもっと成長していくことへの希望がもてるようにする。</p>
---	---

(4) 板書計画

もうすぐ2年生⑦

学校しょうかいをしよう

🕒学校しょうかいのはっぴょうをしよう。

- きくときのポイント
 - ・まっすぐせすじ
 - ・よいところをさがしながらきく
- はっぴょうするときのポイント
 - ・はっきり大きなこえでいう
 - ・わかりやすいことばをつかう
 - ・ゆっくりみんなをみながらはなす

プロジェクター

かんそう

- ・大きなこえでみんなはっぴょうできました。
- ・学校のことがよくわかりました。
- ・しん1年生に見せるのがたのしみです。